

競技者注意事項 ～ 新人 ～

1. 競技規則について

本大会は2015年度日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項によって実施する。

2. 練習について

練習は、競技場内の外周部、または、バックストレッチの9レーンより外側で行い、競技進行に支障がでないように注意する。競技のない時間帯等はバックストレッチを利用してもよいが、フィールド競技に支障のないように注意すること。

投てき練習については、競技場内での投てき用具を使った練習を禁止する。招集完了後に競技場所にて係員の指示で行うこと。

3. 招集について

- (1) 招集所は100mスタート地点後方に設ける。
- (2) 招集の方法
 - ①招集完了時刻は以下の通りとする。

トラック競技	30分前に開始し、20分前に終了する
フィールド競技	40分前に開始し、30分前に終了する
 - ②競技者は、招集完了時刻までに点呼を受ける。その際、ナンバーカードの確認を受け、腰ナンバー標識（1枚）を受け取り、出発までに右腰部やや後方につける（トラック競技のみ）。あわせて、スパイクピンの長さ、靴底の厚さ（走高跳・走幅跳・ジャベリックスロー）。代理人による点呼は認めない。
 - ③2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、招集完了時刻までに、その旨を本人または代理人が、競技者係に届け出る。
 - ④リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいても、その競技会に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち少なくとも2人はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。最初に出場した競技者は、その後のラウンドを通して、2人以内に限り、他の競技者と交代することができる。
 - ⑤リレーに出場するチームは、オーダー用紙を招集完了時刻60分前まで競技者係に提出する。準決勝・決勝についても必ず提出する。
- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとみなして処理する。

4. ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは、和歌山陸協指定のもの（胸・背用1枚）を使用し、配布された大きさのままユニフォームに固定する。なお、跳躍種目に出場する競技者は、背部または胸部のみでもよい。中学生で和歌山陸協登録していない選手については、各学校で指定の番号で出場することができる。
- (2) トラック競技においては、特別ナンバーカードを使用することがある。
- (3) トラック競技に出場する競技者は、写真判定用の腰ナンバー標識（1枚）を配布する。（招集時に受け取り、右腰部やや後方に付ける。）
- (4) トラック競技においては、特別ナンバーカードや腰ナンバー標識を競技終了後すみやかに返却すること。

5. 競技について

- (1) トラック競技のレーン順・フィールド競技の試技順は、プログラム記載の数字で示すとおりとする。
- (2) トラック競技について
 - ①計時はすべて写真判定装置を使用する。同記録の場合は、より細かく優劣を判定して順位を決定する。（1/1000秒単位で確認するが、2/1000秒以上の差が認められた場合を着差とする。）
 - ②トラック競技で、タイムにより次のラウンドの出場者を決める場合、同記録でレーン数が不足する場合、同記録の写真をより細かく優劣を判定して進出者を決める。それでも決められない場合は抽選とする。〔競技規則第167条〕
 - ③レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
 - ④短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。

- ⑤リレーの各走者は、同一のユニフォームでなければならない。
- ⑥リレーの第2・第3・第4走者は、大きさが最大50mm×400mmで粘着テープをマーカーとして1カ所、自らのレーン内に貼ることが許される。競技終了後は速やかに除去すること。
- ⑦スタート方法は、1回目から不正スタートした競技者を失格とする。

(3) フィールド競技について

- ①走高跳・ジャベリックスローに出場する競技者は、粘着テープをマーカーとして2ヶ所まで使用することができる（ただし、曲走路内側に限る）。
- ②フィールド競技における競技場内での練習は2回とし、すべて競技役員の指示に従う。指示以外の練習は認めない。
- ③走幅跳・三段跳に出場する人数が多数の場合、予選は実施せず、並んで設けられた2つのピットに分かれて決勝を行う。3回の試技後、上位8名がそれぞれのピットで残り3回の試技を行う。
- ④投てき競技における「身体の保護」については競技規則第187条4に従う。
- ⑤**三段跳の踏切位置は9mとする。**
- ⑥共通走高跳におけるバーの上げ方は、下記の通りとする。

共通男子走高跳	練習	1m10	開始	1.15(+5cm)・・・1.60(+3cm)
共通女子走高跳	練習	1m00	開始	1.05(+5cm)・・・1.40(+3cm)
共通男子棒高跳	選手	の状況に応じて(+10cm)		

※順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳が2cm、棒高跳が5cmとする。

(4) 競技用靴について

スパイクピンは全天候型のものを使用し、先端が鋭利なものは使用してはならない。長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・ジャベリックスローは12mm以内とする。なお、スパイクピンの本数は11本以内とする。

7. 一般的注意事項

- (1) 競技中に発生した傷害・疾病についての応急処置のみ主催者にて行う。
- (2) **競技場内に「水」以外の飲料持込みを禁止とする。**
- (3) 大会期間中の貴重品の保管は各自で行う。盗難にあっても責任を負いかねるので十分注意する。
- (4) 遺失物については大会総務係で保管する。保管期間は競技会終了1週間程度とする。

連絡先：名田中学校 鈴木忍(0738-29-2314)